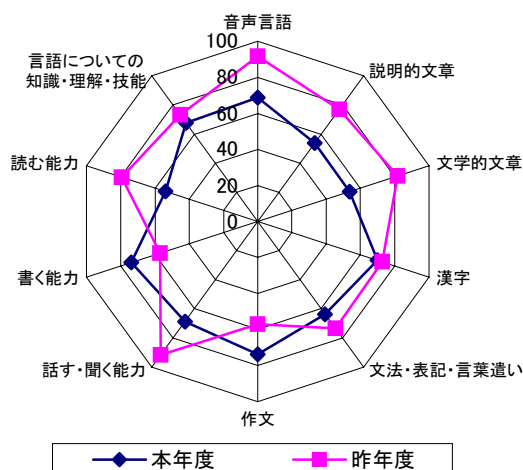


宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【国語】領域別／観点別正答率

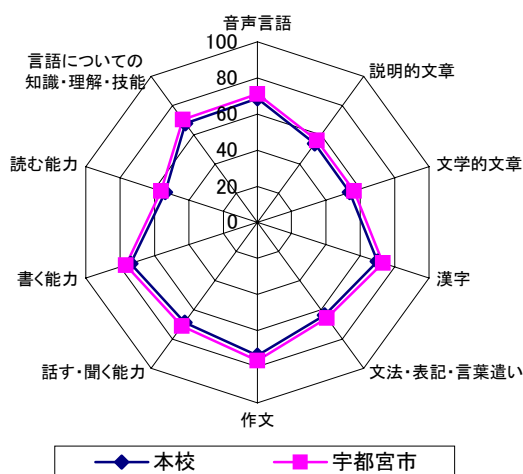
★本校の本年度と昨年度の状況

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	音声言語	68.7	91.6
	説明的文章	53.9	76.9
	文学的文章	53.7	81.7
	漢字	69.8	72.7
	文法・表記・言葉遣い	63.6	73.3
	作文	73.7	57.0
観点別	話す・聞く能力	68.7	91.6
	書く能力	73.7	57.0
	読む能力	53.8	79.3
	言語についての知識・理解・技能	67.7	72.9



★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	68.7	71.1
	説明的文章	53.9	56.1
	文学的文章	53.7	56.4
	漢字	69.8	73.0
	文法・表記・言葉遣い	63.6	65.4
	作文	73.7	76.6
観点別	話す・聞く能力	68.7	71.1
	書く能力	73.7	76.6
	読む能力	53.8	56.2
	言語についての知識・理解・技能	67.7	70.5



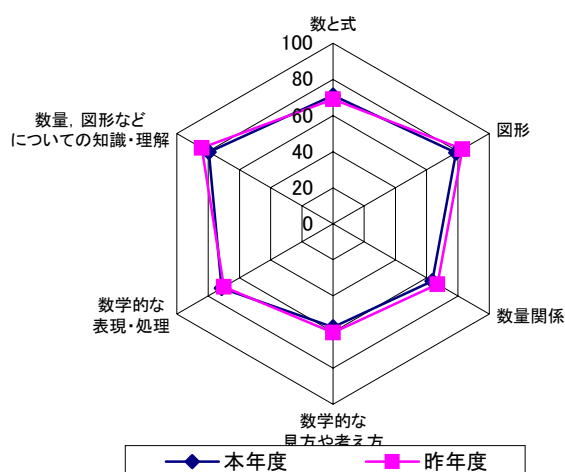
★指導の工夫と改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
音声言語 (68.7%)	・昨年度より22.9%と大幅に減少している。市の平均もやや下回っており、事実と意見の聞き分けに誤答が多い。	・授業中の「聞く・話す」という活動の機会を増やし、聞き取りテストなどの工夫もしていきたい。
説明的文章 (53.9%)	・昨年度よりも23%と大幅に減少している。市の平均もやや下回っており、文脈に即した内容の理解に課題がある。	・段落ごとに要旨を読み取り、文章にあらわす機会を増やすとともに、キーワードやキーセンテンスを探し出せるような工夫をしていきたい。
文学的文章 (53.7%)	・昨年度よりも28%と大幅に減少している。市の平均もやや下回っており、小問別に見ると、語句の補充や登場人物の動作の理由の読み取りの理解が不十分である。	・場面の展開に即した内容理解ができるようにするとともに、心情描写や行動描写を丁寧に扱い、内容の読み取りの機会を増やしていきたい。
漢字 (69.8%)	・昨年度より2.9%減少しており、あまり満足できる状況とは言えない。特に、書き取りの力が不十分である。	・漢字練習や小テストを頻繁におこない、漢字に親しむ機会を増やしていきたい。
文法・表記・言葉遣い (63.6%)	・昨年度より9.7%減少しており、あまり満足できる状況とは言えない。特に、品詞の分類に関する知識・理解がかなり不足している。	・文法学習への苦手意識をなくすような指導を工夫するとともに、演習問題を数多く解く時間を確保していきたい。
作文 (73.7%)	・昨年度より16.7%増加しており、おおむね満足できる状況である。しかし、市の平均よりやや下回っており、さらなる努力が必要である。	・今後も引き続き作文を書く機会を多く持つとともに、説明的文章や文学的文章から読み取ったことをまとめて書く機会を増やしていきたい。

宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

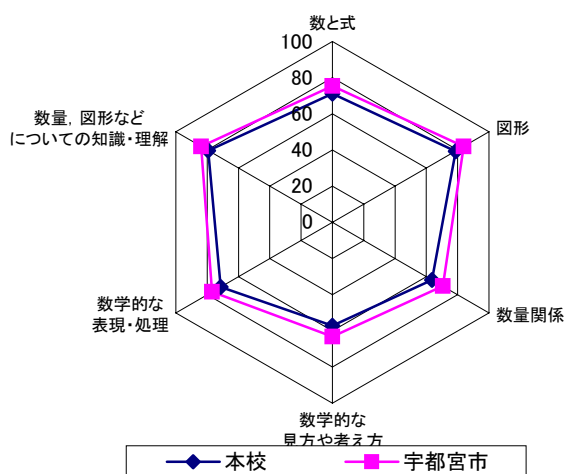
★本校の本年度と昨年度の状況

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	数と式	71.1	69.0
	図形	78.6	82.6
	数量関係	63.5	66.9
観点別	数学的な見方や考え方	57.2	60.2
	数学的な表現・処理	71.3	69.8
	数量、図形などについての知識・理解	79.3	83.9



★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	71.1	75.4
	図形	78.6	84.0
	数量関係	63.5	70.5
観点別	数学的な見方や考え方	57.2	63.2
	数学的な表現・処理	71.3	76.8
	数量、図形などについての知識・理解	79.3	83.9



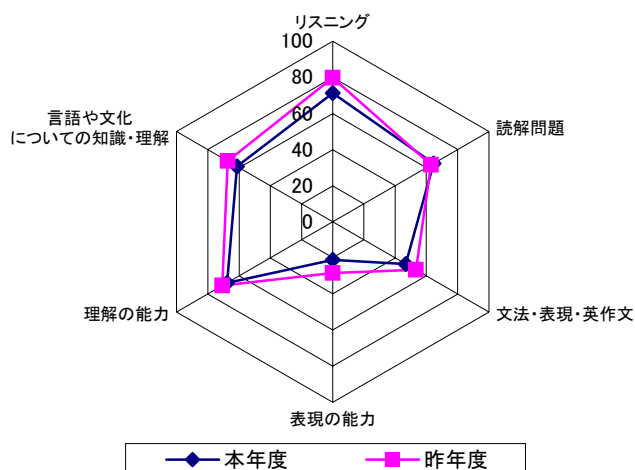
★指導の工夫と改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
数と式 (71.1%)	あまり満足した状況とはいえない。連立方程式では、式の際に加減法における計算ミスや、代入後の移項ミスなど、基本的な計算においても力不足が目立つ。	・計算練習の時間を、授業内においても十分に確保し、生徒の学習意欲を高めさせていきたい。
図形 (78.6%)	正答率は、おおむね80%で、十分満足できる状況にある。しかし、宇都宮市の平均正答率と比べると5.4ポイント下回っているため、さらなる努力が必要である。	・証明の学習等において、論理的な思考力を高められるような指導の工夫をしていきたい。
数量関係 (63.5%)	他の2領域と比較して、平均正答率の低さが目立つ。文字式の表し方を理解していないことも原因の一つとして考えられる。また、昨年度の状況や宇都宮市全体の状況も同様の傾向にあるため、関数を得意としていない生徒が多いと考えられ	・身近な事象と結びつけながら関数の授業を展開し、表式・グラフで表すことの良さを実感させ、深く理解させたい。

宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【英語】領域別／観点別正答率

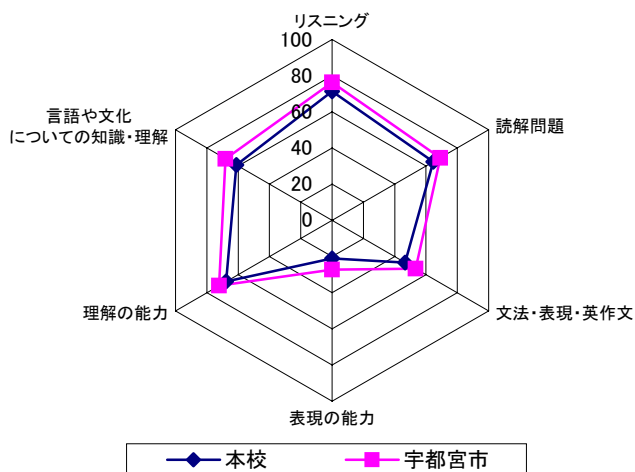
★本校の本年度と昨年度の状況

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	リスニング	71.2	79.7
	読解問題	64.6	62.9
	文法・表現・英作文	46.6	53.1
観点別	表現の能力	21.1	28.4
	理解の能力	67.6	70.6
	言語や文化についての知識・理解	61.1	67.2



★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	71.2	76.3
	読解問題	64.6	69.0
	文法・表現・英作文	46.6	53.2
観点別	表現の能力	21.1	27.3
	理解の能力	67.6	72.3
	言語や文化についての知識・理解	61.1	68.0



★指導の工夫と改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
リスニング (71.2%)	平均正答率は、昨年度より減少し、あまり満足した状況とは言えない。小問別に見ると90%を超える問題もある。内容把握に関する問題での不十分さが目立つ。	ALTやCDの効果的な活動によって聞く力は、維持されているが、内容把握に関しては、ポイントを提示した活動を継続するとともに短文の内容把握をくり返し指導していきたい。
読解問題 (64.6%)	平均正答率は、80%を下回っているが、昨年度よりも1.7ポイント上昇している。小問別に見ると対話文の内容把握において50%を越えないものがある。	内容把握のポイントを提示する指導を継続するとともに短文の内容確認を工夫して指導していきたい。
文法・表現・英作文 (46.6%)	平均正答率が50%を切っており、基本単語練習や短文の練習を増やしてきたが、あまり効果があったとは言えない。英作文においての不十分さが顕著である。	基本文・基本単語が定着するような指導を工夫するとともに、身の回りのことを英語で表現する機会を増やしていきたい。